

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部
	19008	森林経営管理事業		課名	産業振興課 森林林業G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	01:一般会計
	基本施策	08:自然との共生			06:農林水産業費
	施策の方向	02:森林・里山・農地の保全			01:農林水産業費
戦略プロジェクト	-		06:林業振興費		
事業予定期間	R 1 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	森林経営管理法		

目的・概要	対象	森林所有者
	目的	近年の深刻な山離れと不明化している森林の境界を背景に、森林所有者個々による森林管理は難しくなっている。このことから、市が自ら経営管理を行なうか、又は林業事業体に任せることにより、林業経営の効率化及び森林の管理の適正化の一体的な促進を図り、もって林業の持続的発展及び森林の有する多面的機能の発揮を目指す。
概要	令和元年度から市町村に交付される森林環境譲与税を活用し、平成30年5月に制定された「森林経営管理法」に基づき、手入れの行き届いていない民有林の森林所有者に経営管理の意向調査を行う。また、意向調査の結果、自ら森林を管理することができない場合で、市に経営や管理を委ねる意向がある場合は森林を調査し、調査の結果、林業経営に適した森林は意欲と能力のある林業経営者に委託し、林業経営に適さない森林を公的に管理を行う。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	意向調査 調査地区:坂下地区等 調査対象区域面積:約1,980.44ha 調査対象面積:約500ha 調査対象者:約200名	森林境界明確化・林分調査 実施地区:坂下地区 対象面積:約150ha ○森林情報基礎調査 実施区域:加太北在家 対象筆数900筆	森林境界明確化・林分調査 実施地区:坂下地区 対象面積:約120ha ○集積化計画作成 実施地区:坂下地区 対象面積:約210ha ○森林経営管理制度に基づく間伐 間伐面積:50ha ○森林情報基礎調査 実施区域:加太中在家 対象筆数1500筆	
	年度実績	○意向調査 対象地区:坂下地区(坂下・沓掛・市瀬) 調査対象面積:345ha 調査対象者:253人	森林境界明確化・林分調査 実施地区:坂下地区 実施面積:139ha ○森林情報基礎調査 実施区域:加太北在家 対象筆数:920筆		
事業の計画・実績	計画額	事業費	13,000千円	25,400千円	36,900千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他		900千円	8,300千円
	予算額	事業費	12,600千円	21,670千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他		943千円	
	決算額	事業費	12,562千円	21,507千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他		896千円	
人件費	総人件費	3,925千円	5,509千円	0千円	
	一般職員	3,925千円	3,920千円	0千円	
	所要人員	0.50	0.50		
	会計年度任用職員等	0千円	1,589千円	0千円	
総コスト(+)		16,487千円	27,016千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称 森林経営意向調査面積	計画値	500		
		実績値	345		
		単位	ha		
	名称 森林の境界明確化面積	計画値		150	120
		実績値		139	
		単位		ha	ha
	名称 間伐面積	計画値			50
		実績値			
		単位			ha

事業の改善	前評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>森林環境譲与税を活用し、会計年度任用職員を雇用し増大する事業量に対応するとともに、三重県、みえ森林経営管理支援センターなどと事業推進を図るため調整を行う。 他自治体の実践事例などの情報収集を行う。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>会計年度任用職員1名を雇用し、年度計画に掲げる事業を実施するために必要な情報収集、整理などを行った。 年度計画に掲げる事業を実施するとともに三重県、みえ森林経営管理支援センターなどと定期的な意見・情報交換や受託者との打ち合わせを行うとともに県内事例の情報収集に努めた。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>令和元年度に坂下地区(坂下・沓掛・市瀬)において、森林経営管理事業の対象となる森林の抽出、意向調査を実施し、その結果に基づき、坂下地区の一部で境界明確化及び林分調査業務委託を、加太北在家地区において、森林情報基礎調査業務委託を発注し、ほぼ計画どおり実施することができた。</p>	A 計画どおり実施できた
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>ほぼ計画どおりの139haの森林について境界明確化・林分調査業務委託を行った。森林所有者の高齢化による現地立会困難や所有者不明森林も多かったが、市が森林整備を行うために必要となる集積計画の作成可能な森林約37haの整理ができた。</p>	B まずまず成果を得た

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>事業実施において、森林所有者の高齢化による立会困難、所有森林所在場所の不知、相続など、林業事業者が林業施業を進めていく上での課題と同様の課題があり、これらの課題に取り組み、集積計画の作成が可能な森林面積の増加を図る必要がある。</p>	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>県下で集積計画を作成した自治体担当者との情報交換など行うとともに、三重県、みえ森林経営管理支援センターと連携し事業に取り組む。 市が保有する林地台帳の図面整備の実施について検討を行う。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>情報収集や連携により、課題の早期発見、早期解決を図ることが期待できる。 森林経営管理事業の効率的、効果的な事業推進が期待できる。</p>	
対応時期		令和3年度	

【1次評価者】	産業建設部 産業振興課 森林林業グループリーダー 葛西 裕二
【最終評価者】	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	/	/	A	A	
	成果	/	/	A	B	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		21,670 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	21,670 千円
	令和3年度への繰越額	千円